

近年、豪雨災害や地震災害が全国各地で発生しており、甚大な被害をもたらしています。玄海町は山と海に囲まれた土地となっており、地震、津波、洪水、土砂災害、高潮等、考えられる自然災害が多岐にわたります。地域によって警戒すべき災害が異なるため、自分の住んでいる場所にどのような危険があるのかを知り、日ごろから災害の備えをしておきましょう。

洪水大雨による床下、床上浸水	地震揺れや、がけ崩れによる被害
土砂災害がけ崩れや土石流など	津波遠地地震による津波
高潮台風等による高潮	火災

マップの活用方法

災害に対しては日頃からの備えが重要です。この冊子やハザードマップを活用し、各家庭で次のようなことを確認しておきましょう。

1 自宅等の災害危険性をチェックしましょう

- 自宅周辺やよく行く場所の洪水や土砂災害、高潮、津波等の災害危険性を確認し、様々な事態をイメージしましょう。

2 防災情報の入手先を確認しておきましょう

- 災害時に慌てないよう、日頃から防災情報の入手先を確認しておきましょう。

3 避難場所を決めておきましょう

- 土砂災害や浸水の危険がある区域を確認し、どこへ避難するかを決めておきましょう。
- 緊急に避難ができる身近な場所も探しておきましょう。

4 避難場所までの避難経路を考えましょう

- 避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょう。
- 避難途中で浸水等があった場合に緊急避難できる場所を探しておきましょう。

5 家庭の状況にあわせた事前の備えを行いましょ

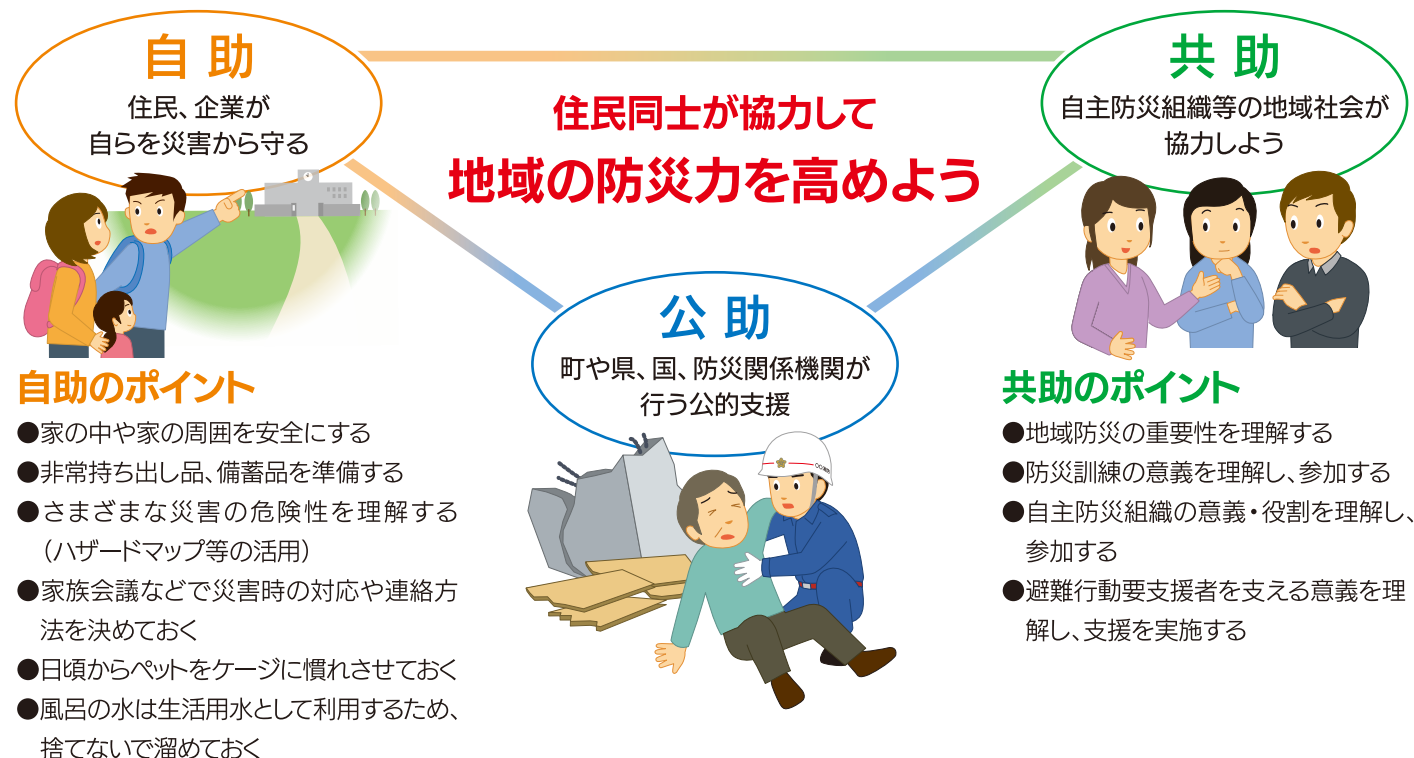
- 家族構成にあわせた非常持ち出し品、備蓄品を準備しておきましょう。
- 災害に備えて自宅の周りや屋内の家具配置を整えましょう。

6 日頃から家族や地域で話し合いましょ

- 災害時に協力し合えるよう、家族や地域で役割などを話し合いましょ。
- 避難時に支援が必要な要配慮者への情報伝達や補助内容を決めておきましょう。

地域での協力 自助・共助・公助

災害時(災害が発生し、又は発生するおそれがある場合)の被害を最小限に抑えるためのキーワードとして、「自助」「共助」「公助」という言葉がよく使われます。自助とは、いざというとき自分や家族の命と財産を守るために、住民、企業が自らを守るために備えることです。共助とは、地域社会の被害を減らすために地域が一丸となって助け合うことです。公助とは、行政が担う総合的な防災対策などを指しています。災害の発生を防ぐことはできませんが、これらの自助、共助、公助が連携し、効果的に機能すれば、被害を減らすことは可能です。以下にあげるポイントを理解し、災害に備えましょう。



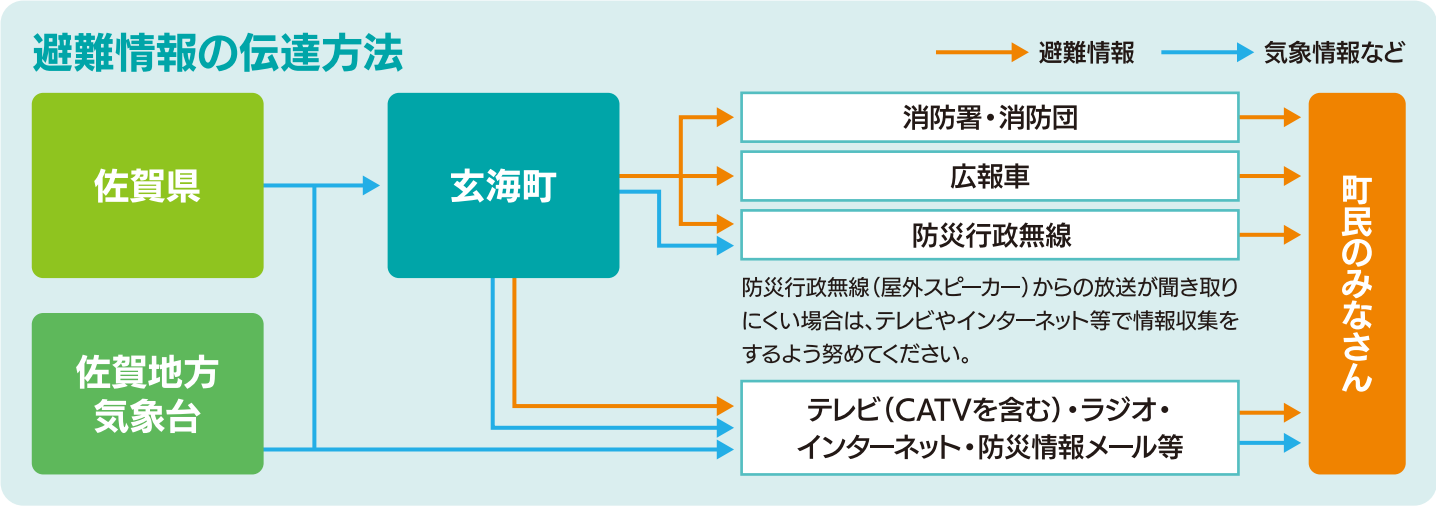
自主防災組織の役割と活動

自主防災組織とは、地域住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ために活動することを目的に結成する組織のことです。自主防災組織は、日頃から災害に備えた様々な取り組みを実践するとともに、災害時には、災害による被害を最小限に食い止めるための活動を行います。

平常時の取り組み	災害時の活動
●地域の安全点検 ●避難場所・避難経路の確認と点検 ●地域住民に対する防災知識の普及と啓発	●防災資機材の整備と点検 ●自力で避難や移動が困難な方などの確認 ●避難誘導 ●初期消火 ●救出・救護 ●情報の収集・伝達 ●給食・給水 ●避難所の運営

情報の流れ

災害発生のおそれがあるときには、気象庁や佐賀県、玄海町などからさまざまな情報が提供されていますので、テレビやパソコン、スマートフォンなどを利用して、発表されている情報を確認してください。



緊急連絡先

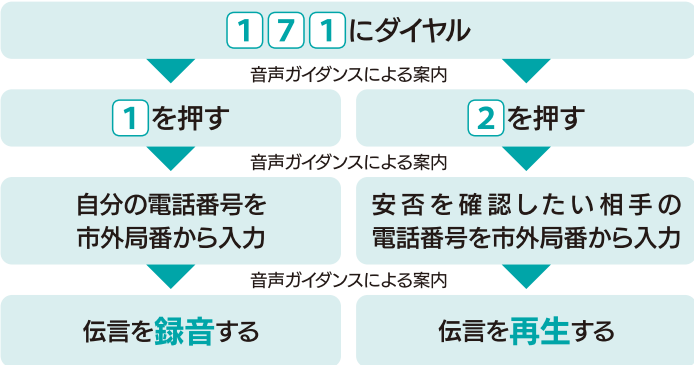
警察への事件・事故の通報	(局番なし) 110	玄海町役場(災害対策本部)	0955-52-2115
火事・救助・救急車	(局番なし) 119	玄海町生活環境課(下水道)	0955-52-2189
海の事件・事故の通報	(局番なし) 118	玄海町生活環境課(上水道)	0955-52-2114
道路緊急ダイヤル	#9910	玄海町福祉・介護課(避難行動要支援者)	0955-52-2220
NTT西日本	113	九州電力送配電	0800-777-9416

災害時の家族や知人との連絡方法 災害用伝言サービス

大災害発生時には、電話利用が急激に増加し、電話がつながりにくい状況が続くことがあります。このような場合は、以下のサービスが開設されるので家族や親族、友人・知人との安否確認として活用しましょう。

災害用伝言ダイヤル（固定電話・携帯電話）

災害発生時に、電話を利用して安否情報を登録・確認できる「声の伝言板」です。

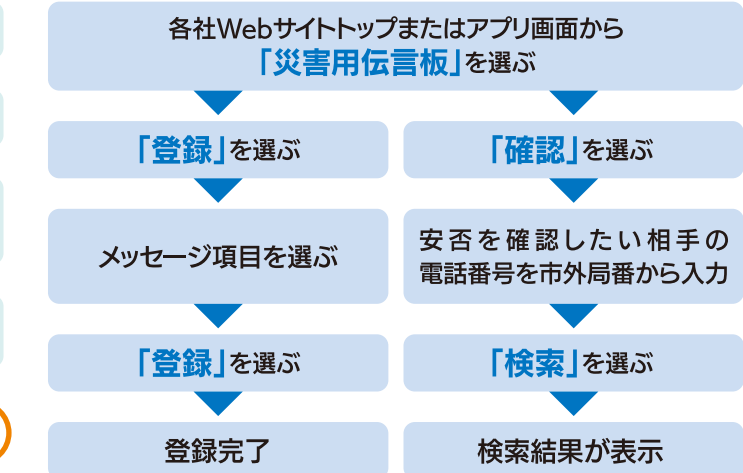


web171 <https://www.web171.jp>

インターネットに接続できるパソコン・携帯電話・スマートフォン等で「web171」を利用することができます。

災害用伝言板（携帯電話・スマートフォン）

災害発生時に、インターネットを利用して安否情報を登録・確認できる「文字の伝言板」です。



※Webサイト・アプリによって操作方法が異なります。詳しくは各社の利用案内をご確認ください。

情報の取得先

玄海町防災ポータル

<https://www.town.genkai.lg.jp/site/bousai-portal/>

町の防災情報をまとめてみるができるページです。

玄海町公式LINE／Yahoo!防災速報

<https://www.town.genkai.lg.jp/soshiki/18/44796.html>

玄海町公式LINE



Yahoo!防災速報



玄海町では、災害協定を締結しているLINEヤフー株式会社の協力により、LINEやスマートフォン用アプリ「Yahoo!防災速報」を活用して防災情報の配信を行っています。コメントに対しては、原則として返信いたしません。緊急通報などは、消防119、警察110に連絡するようお願いいたします。

玄海町 災害メールサービス

●お問い合わせ先…玄海町役場 防災安全課 電話:0955-52-2115



災害メールサービスは、発生した災害についての情報を、携帯メールへ送信するサービスです。登録は、携帯のEメールの送受信で行います。右の二次元コードを読み取り、空メール（本文が何も記載されていないメール）を送信すると「新規ご登録」メールが配信されます。

テレビやラジオ・チャンネル玄海からの情報

テレビからは、ニュースやテロップに加えデジタル放送（リモコンのdボタン）で防災に関する様々な情報が確認できます。停電になっても使用できるラジオを用意しておくことと安心です。また、「チャンネル玄海」では、町の情報をお伝えしています。



佐賀県 防災ネットあんあん

●お問い合わせ先…佐賀県 危機管理防災課 電話:0952-25-7362

iPhoneをご利用の方



Androidをご利用の方



「防災ネットあんあん」は、佐賀県が防災・安全・安心に関する情報を配信するシステムで、玄海町が発令する「高齢者等避難」や「避難指示」等の避難情報、避難場所の開放情報や避難所の開設情報のほか、気象情報や防犯情報など様々な情報が配信されています。

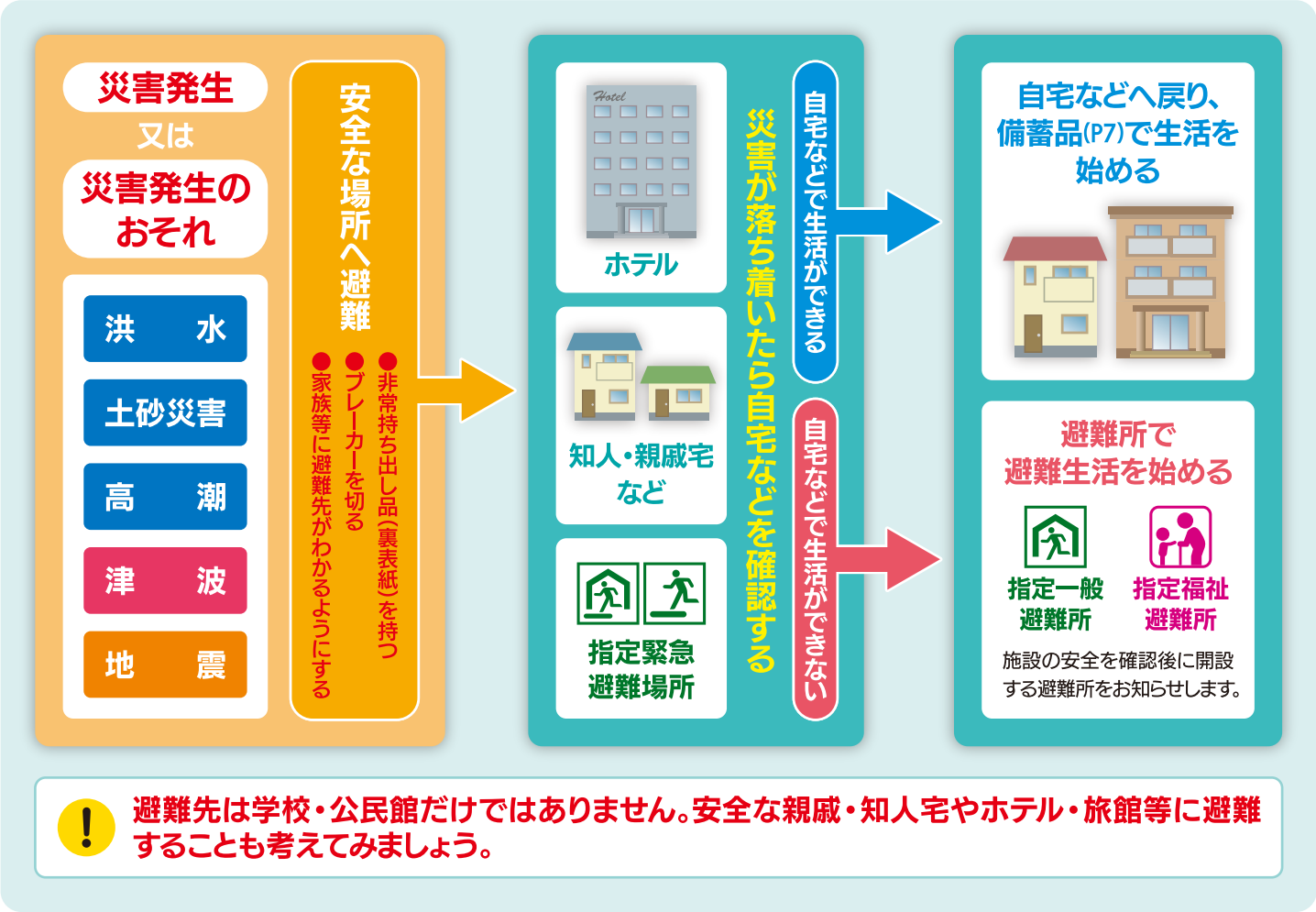
SNSの偽情報に注意

災害直後、SNS上では救助を求めたり、被害状況を知らせたりする偽情報や誤情報も拡散され、救命・救助活動に支障が出るなどの悪影響が生じることがあります。災害時には①偽・誤情報を発信しない、②拡散しない、③騙されないの3点に注意してください。



危険な場所から避難 安全な場所にいる方は避難する必要はありません

災害が発生又は発生するおそれがある場合、危険な場所にいる方は安全な場所に避難しましょう。



避難行動の分類

避難行動	避難先	あらかじめ行っておくこと	避難情報
緊急安全確保	安全とは限らないが、より身の安全が確保できる場所 ●上層階 ●崖から離れた部屋 ●近隣の堅牢な建物 相対的に安全な場所	●急激に災害が切迫した場合に備え、身の安全を確保するための行動を確認	警戒レベル5 緊急安全確保 ※津波は避難指示のみ
警戒レベル4までに必ず避難			
立退き避難	安全な場所 ●指定緊急避難場所 ●安全な自主避難先(知人宅や旅館等)	●避難先の確認及び避難経路の安全を確認 ●非常持ち出し品の確認	警戒レベル3 高齢者等避難 警戒レベル4 避難指示 ※津波は避難指示のみ
屋内安全確保	安全な自宅・施設等 ●安全な上層階へ移動 ●安全な上層階に留まる ※土砂災害と津波は、立退き避難が原則	●ハザードマップ等で自宅の災害危険性を把握し、安全を確認 ●孤立に備えた備蓄の準備等	警戒レベル3 高齢者等避難 警戒レベル4 避難指示

安全な避難のために



安全に避難するために、避難する場所をあらかじめ決めておき、避難するタイミングなどを家族で話し合い、マイ・タイムライン(P31～32)を作っておきましょう。



避難情報が発令されたときや、ご自身で危険を感じたときは早めに避難行動を開始しましょう。夜間や豪雨の中での避難は危険です。

助け合って避難しましょう

高齢者・病人

- 歩行の補助をするなど協力して安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。



目の不自由な方

- 声をかけ情報を伝える。
- 誘導する場合は、白杖を持った方の手には触れず、誘導者のひじあたりを軽く持ってもらい、半歩前をゆっくり歩く。



肢体の不自由な方(車椅子)

- 階段の昇り降りでは2人以上の介助者が必要。車椅子の向きは、常に上階を向く姿勢で保持する。
- 介助者が1人の場合、ロープなどを利用し、協力して避難する。



耳の不自由な方

- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。
- 話すときは、マスクを外して口をはっきりと開け、相手にわかりやすいようにする。



ペットの避難を考えましょう

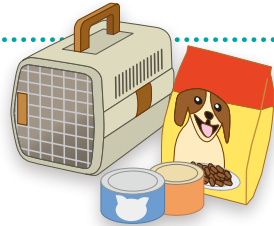
大規模な災害が起こったとき、ペットがともに安全に避難でき、一緒に暮らせるようにするためには、しつけをしておくなど日ごろからの心構えと備えが大切です。佐賀県や環境省のホームページ「ペットの災害対策」なども参考に考えましょう。

災害時の心構え

避難所には、動物が苦手な人やアレルギーを持っている人など様々な人がいるので、周りの人に配慮しましょう。

ペット避難用具・備蓄品の用意

食料、リードやキャリーバッグ等、避難先での飼育に必要なものを予め用意しておき、持参しましょう。ペット用の避難物資が届くまでには時間がかかる場合があるので、5日分(できれば7日分以上)は用意しておきましょう。



ペットのしつけと健康管理

ケージやキャリーバッグ等に慣れさせておき、決められた場所で排泄ができるようにしておきましょう。予防接種や寄生虫の駆除をしておきましょう。



ペットの災害対策について

佐賀県 ペットの災害



人とペットの災害対策ガイドライン

環境省 ペットの災害



■ 備蓄品

災害復旧までの数日間（最低3日分、できれば7日分）自ら生活できるように準備しておきましょう。被害を受けにくく、非常時でも取り出しやすい場所に保管しておくとい良いでしょう。

食料

- ☐ 飲料水（1人1日3リットルを目安）
- ☐ 米（缶詰やレトルトのご飯なども便利）
- ☐ 缶詰や菓子類
- ☐ 粉・液体ミルク・離乳食



燃料・日用品など

- ☐ カセットコンロ
- ☐ 予備のガスボンベ
- ☐ 毛布または寝袋
- ☐ ブルーシート
- ☐ なべ、割り箸
- ☐ 衣類
- ☐ 新聞紙
- ☐ 簡易・携帯トイレ
- ☐ 布製ガムテープ
- ☐ キッチン用ラップ
- ☐ モバイルバッテリー
- ☐ ポータブル発電機

■ ローリングストック（循環備蓄）

備蓄食料、水などの保存期間が切れる前に消費し、その分だけを補充して常に一定量のストックを保つことを「ローリングストック」といいます。定期的に古い備蓄品から消費することで無駄を出さず、いざというときに期限切れで使えなくなることを防ぎます。

1〜3日目

冷蔵庫や冷凍庫の食材を活用する

ご飯や食パン、野菜などを冷凍しておけば自然解凍により食べる事も可能です。停電のときは、クーラーボックスや保冷剤等を利用して食材を保存しましょう。

4〜7日目

ローリングストック法で備蓄した非常食を活用する

●備蓄しておくとい物

缶詰め、カレー、パックご飯、乾麺、レトルト食品、フリーズドライ食品

食べながら備えるローリングストック法とは

ローリングストック法は、保存食を日常的に消費し、食べた分だけ買い足していく備蓄方法です。日頃から食べ慣れている賞味期限が1年程度のものを意識的にストックして、月に1、2度食べるときに防災について考えるきっかけにしましょう。

②と③を定期的に繰り返して備蓄を一定に保つ

① 1食分多めに買う

③ 食べた分を買い足す

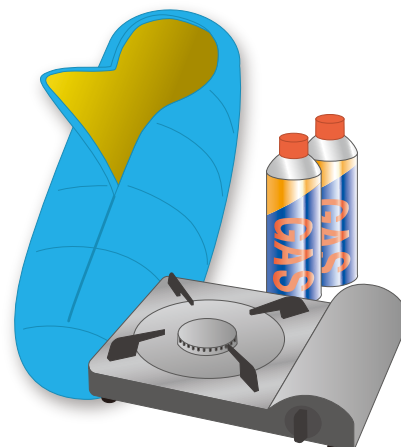
② 1食分を食べる

■ 備えない防災 フェーズフリー

フェーズフリーとは、「身の回りにあるモノやサービスを、日常時はもちろん非常時にも役立てることができる」という考え方です。

日常・非日常、どちらの場面でも便利に使えるモノやサービスを積極的に導入することで、普段の生活が同時に災害への備えとなります。

例えば、アウトドア用品やカセットコンロなどは非常時にすぐに活用できる備品です。普段のウォーキングコースに避難所へのルートを組み込むこともフェーズフリーです。このほかにも、普段の生活で活用できて非常時の際にも役立てられることを探してみましょう。



■ 外国人住民に向けた情報提供

佐賀県災害多言語支援センター

大規模災害が発生した場合、佐賀県災害多言語支援センターで、外国語での災害情報発信と災害相談対応を実施します。災害に備え、事前の登録をお願いしていますので、知り合いの在住外国人の方にもぜひ周知をお願いします。



SPIRA
website



SPIRA
Facebook

- 電話番号 0952-25-7921
- メール info@spira.or.jp
- 佐賀県国際交流協会(SPIRA)ホームページ <https://www.spira.or.jp/>
- 佐賀県国際交流協会(SPIRA)Facebook <https://www.facebook.com/spira.saga> ID: spira.saga
- さが多文化共生センターLINE



さが多文化共生
センター LINE

NHKワールドジャパン

テレビ・ラジオ・インターネットを使って、外国語でニュースを伝えています。
News is conveyed in foreign languages using television, radio, and the Internet.



iPhoneを
ご利用の方



Androidを
ご利用の方

災害情報提供アプリ Safety tips

観光庁監修の外国人旅行者向け災害時情報提供アプリです。
This is an app that provides disaster information for foreign travelers supervised by the Japan Tourism Agency.



iPhoneを
ご利用の方



Androidを
ご利用の方

女性に配慮した避難所環境づくり

東日本大震災や熊本地震の避難所において、男女のニーズが十分理解できていないことや、プライバシーの配慮不足、安全確保などが課題となりました。このため、避難所運営においては、女性のより積極的な参画が必要となります。

① プライバシーなどに配慮した避難所設計と運営

- 一人暮らしの女性やお年寄り、体の不自由な方、乳幼児のいる家庭など被災者に応じて、間仕切りを工夫するなど、プライバシーの確保。
- 男女別のトイレ、更衣室、洗濯干し場など、女性に配慮した設備配置。

② 避難所生活における安全性の確保

- 声かけの実施など、女性や子どもを一人で行動させない仕組みづくり。
- 屋外トイレ周辺の夜間照明の設置や巡回パトロールの実施など、防犯対策の徹底。

③ 女性などの声が通りやすい環境づくり

- 避難所運営組織に女性に関わるなど運営体制等の協議に参画したり、女性が意見を出しやすい仕組みづくり。

目指す避難所環境とは

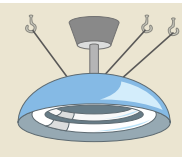
■ 屋内の安全対策

地震で建物が倒壊しなくても、大きな家具の転倒、家電製品の落下、ガラスの飛散などにより大きなケガをしたり逃げ場をふさがれたりします。事前に家具などの固定や配置方法の工夫を行い、屋内の安全性を高めておきましょう。



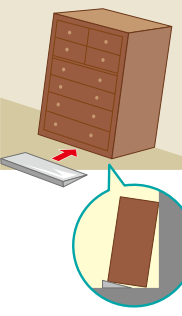
収納に工夫を

- タンスや本棚などにものを入れる場合は、重いものは下に、軽いものは上に収納するようにしましょう。
- 本棚は隙間をブックエンドで固定するなど、なるべく空間を作らないようにしましょう。



照明器具の補強を

- 吊り下げ式蛍光灯は、チェーンなどで止めておきましょう。



置き方に工夫を

- 家具の下部の前方に転倒を防止するための板などを入れ、壁にもたれ気味にしましょう。
- 出入口や通路には、なるべく荷物を置かないようにしましょう。
- 就寝場所に家具が倒れてこないように、配置の工夫をしましょう。

地震のときに家具などが就寝部分に倒れたり、避難経路をふさぐ位置に配置しないようにしましょう。

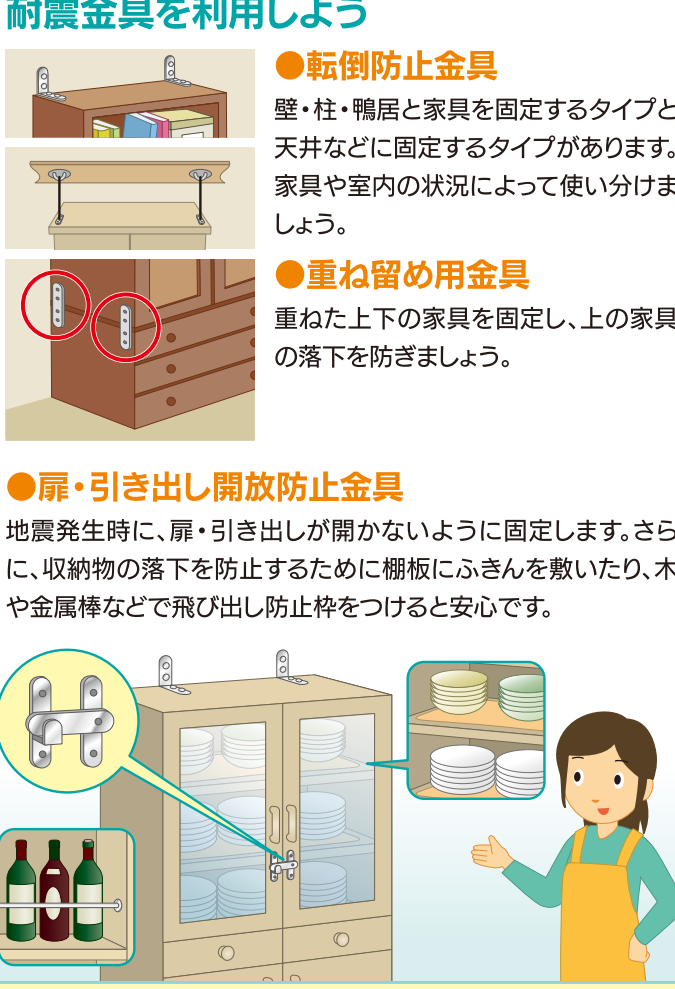


正しい配置



ガラスの飛散防止を

- 割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。

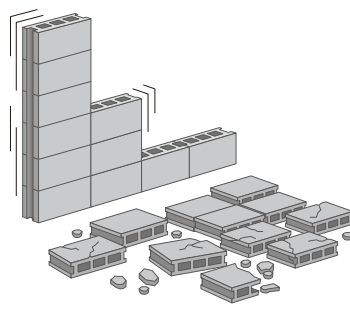


耐震金具を利用しよう

- 転倒防止金具
壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、天井などに固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって使い分けましょう。
- 重ね留め用金具
重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎましょう。
- 扉・引き出し開放防止金具
地震発生時に、扉・引き出しが開かないように固定します。さらに、収納物の落下を防止するために棚板にふきを敷いたり、木や金属棒などで飛び出し防止枠をつけると安心です。

■ 屋外の安全対策

地震の揺れにより、ブロック塀などが崩れてケガをしたり、ガスボンベなどが倒れるなどした場合に、火災やケガにつながる場合があります。事前に家の周りを点検し、屋外の安全性を高めておきましょう。



壁・塀

- 壁や塀にひび割れなどがなければ、腐ったりしていないか点検しましょう。
- ブロック塀は、地震の揺れにより崩れる可能性があるため、できれば安全な生垣などにしましょう。



ガスボンベ

- ガスボンベは、動かないように壁に固定しましょう。
- ガスボンベの周りには、物を置かないようにしましょう。

■ 耐震診断・改修のすすめ

地震対策の第一歩は、わが家の耐震性能を知ることです。大きな地震があってもわが家は安全なのか、耐震診断を受けて確かめましょう。耐震性の判断には建築の専門的知識が必要です。外見に異常が見られなくても、専門家による耐震診断を受けることが必要です。

進んで耐震診断を行い、補強が必要な箇所の耐震改修を実施しましょう！

昭和56年5月以前に建てられた木造住宅は、ぜひ耐震診断を行ってください。昭和56年5月以後に建てられたものでも、ご心配なら、耐震診断を行うことをお勧めします。
※詳しくは、(財)日本建築防災協会のホームページをご覧ください。 <https://www.kenchiku-bosai.or.jp/>

▶ 耐震診断から耐震改修工事までの流れ

現在、玄海町では、木造住宅の耐震診断費、耐震改修費、ブロック塀等撤去費の補助事業が創設されています。申請をする前に生じた費用については、補助の対象外となりますので、必ず事前に相談、申請を行ってください。

木造住宅耐震診断費補助事業について

●平成29年度から、町内にある木造住宅の耐震診断を行われる方を対象に補助事業を創設しました。

木造住宅耐震診断費補助事業のご案内

<https://www.town.genkai.lg.jp/soshiki/8/1309.html>

木造住宅耐震改修事業費補助事業について

●平成30年度から、木造住宅耐震改修補助事業を開始しました。

木造住宅耐震改修事業費補助事業のご案内

<https://www.town.genkai.lg.jp/soshiki/8/2540.html>

ブロック塀等撤去費補助事業について

●令和2年度から、町内にあるブロック塀等の撤去を行われる方を対象に、補助事業を創設しました。

ブロック塀等撤去費補助事業のご案内

<https://www.town.genkai.lg.jp/soshiki/8/34484.html>

9

10

地震

津波

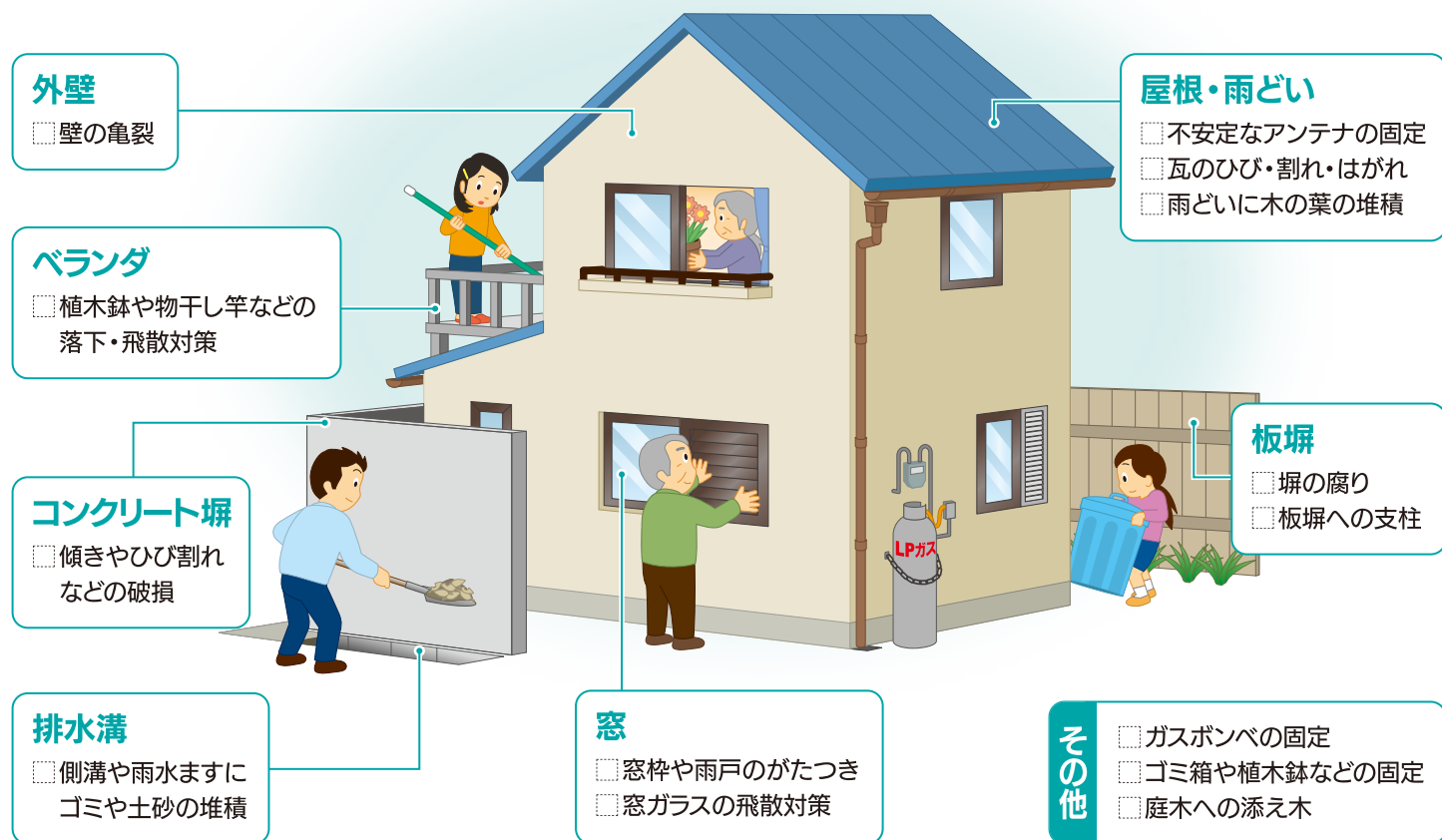
風水害

避難場所等



家の周りの片付け

風水害による建物の被害を抑えるため、下のイラストを参考に、点検・修理・補強を行っておきましょう。



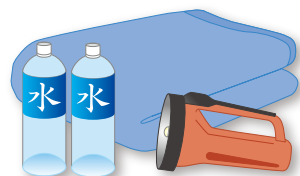
家庭でできる浸水対策

浸水が浅い場合には、プランターや長めの板(テーブルでも可)などを、ビニールシートに包んで設置する等の方法があります。

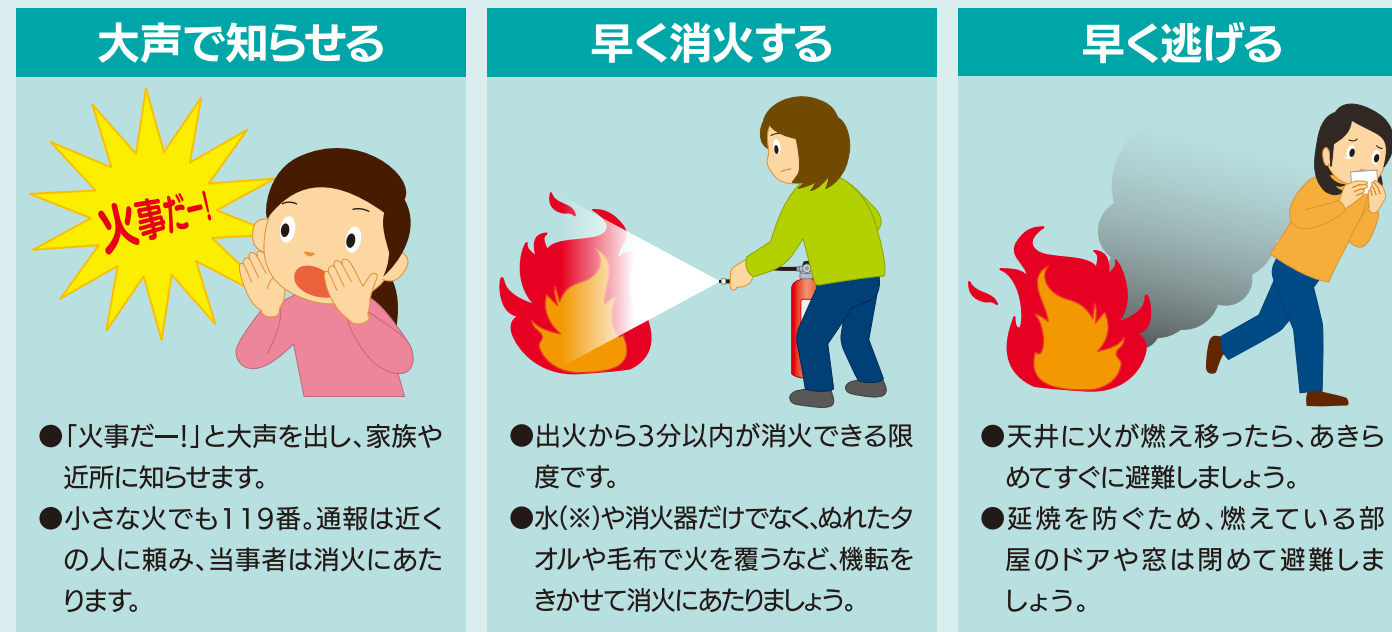


台風時の停電への備え

台風時には被災状況によって停電が長期化することがあります。停電や停電に伴う断水に備えて、懐中電灯、防寒具、飲料水などを準備しておきましょう。



火災の初期対応3原則



※油火災には「水」は厳禁。消火器やぬれたタオルなどで鍋を塞ぎ空気を遮断して消火(窒息消火)しましょう。

火災防止の心得

- 寝タバコはしない、させない習慣を。放置やポイ捨ても厳禁。
- ストープには燃えやすい物を近づけない(カーテン・洗濯物に注意)。給油や移動は必ず火を消してからにしましょう。
- 火をつけたままコンロのそばから離れない。
- コンセントはたこ足配線をやめ、ホコリを取り除く。
- 家の周囲に燃えやすい物を置かない。放火させない環境づくり。
- マッチやライターを子どもの手の届く場所に置かない。

住宅用火災警報器を設置しましょう

平成21年6月1日からすべての住宅(寝室)に設置が義務付けられています。また、機能維持のため約10年での交換が推奨されています。

